

合志市総合計画

元気・活力・創造のまち

健康都市こうし





市章

合志市のイニシャル「K」をモチーフに、将来像である「未来輝く産業・定住拠点都市」、基本理念「人と自然を大切に協働によるまちづくり」のイメージをあらわし、合志市の魅力と活力あふれる繁栄発展を象徴しています。赤のポイントは市民の市政への情熱を示しています。

平成18年2月27日制定

市花・市木



市花〔カスミソウ〕



市木〔クヌギ〕

市民の皆さんからご応募いただいた中から、総合政策審議会の意見をもとに、決定されました。

平成18年11月9日制定

合志市 市民憲章

わたしたちは「志」を「合」わせて協働によるまちづくりをすすめるため合志市民憲章を定めます

1. 自然を愛し 環境にやさしい 美しいまちをつくります
1. 伝統文化を大切に 思いやりの心を育む 誇れるまちをつくります
1. 健康で勤労を尊び 心身が潤う 豊かなまちをつくります
1. きまりを守り 秩序ある 住みよいまちをつくります
1. 未来を託す子どもたちを見守り みんなで育てるまちをつくります

平成19年3月20日制定

合志市 子ども憲章

一人ひとりの幸せと 緑豊かな合志市の輝かしい未来を担うべく私たちは 合志市を誇りに思い 互いに手を取りあい 誰もが大切にされる合志市にすることを誓い ここに「合志市子ども憲章」を定めます

- 命 : わたしたちは 平和と愛と命を大切にし 明るく健康な生活をします
夢 : わたしたちは 夢や希望を持ち未来と自立に向かって努力します
挨拶 : わたしたちは さわやかな挨拶をし感謝の心を大切にします
友だち : わたしたちは 思いやりの心を持ち 一人ひとりの人権を大切にし友情の輪を広げます
自然環境 : わたしたちは 郷土の緑豊かな自然を大切にし 環境にやさしい 生活を送ります

平成19年2月17日制定



更なる「健康都市こうし」を目指して

日本経済は、国の成長戦略や円安による輸出企業の収入拡大、原油安による企業のコスト削減といった環境に恵まれたこともあり、緩やかながら回復傾向が見られるとの判断もあります。しかし、新興国の景気減速懸念が広がり、日本経済の先行きに対する見方は予断を許さない状況でもあります。

2014年5月、民間有識者でつくる「日本創成会議」が「消滅可能性が高い自治体リスト」を公表したことで、基礎自治体にとって地方創生は待ったなしの状況となりました。急激な少子・高齢化、高度情報化、国際化の進展等、社会経済情勢が大きく変化する中、地方公共団体においては、多種多様な問題を総合的な視点から捉え、持続可能なまちづくりを進めていくことが求められています。

しかし、全国的に人口減少時代と言われている中であっても、合志市は人口が増え続ける元気な市として外部から評価を受けています。旧合志町と旧西合志町が合併して今年で10年が経過し、合併当初の合志市の人口約5万2千人が、本年中には6万人を越す勢いで増加しています。2015年に策定した合志市地方創生人口ビジョンでは、2035年の将来人口6万8千人をピーク人口として位置づけています。

そうした中、合併時に策定した「新市建設計画」、平成20年に策定した「合志市第1次総合計画」を基本に、本市の様々な個性や特徴を活かしたまちづくりを進めるための指針である「合志市第2次総合計画」を今回策定いたしました。新しい計画では「元気・活力・創造のまち」を将来都市像として掲げ、さらに「健康都市こうし」を横断的課題として位置づけています。この計画では、市の特性を活かした各種施策を展開し、都市環境、自然環境、福祉、教育、歴史、文化、産業など調和のとれたまちづくりを目指しています。

合志市に暮らす全ての人が安全に、安心して日々を過ごせ、色々な分野において健康で健全なまち、元気あるまちに発展するよう、各施策の着実な推進に努め、「健康都市こうし」づくりに市民・議会・行政が一体となって、精力的に取り組んでいきたいと考えます。

最後に、計画の策定にあたって貴重なご意見やご指導をいただいた市民の皆様、総合政策審議会委員、議会議員の皆様をはじめ多くの方々に対し心から厚くお礼を申し上げます。

平成28年4月

合志市長 荒木 義行